北海道
コンサドーレ札幌
Forward
19
ティラパット プルートン
TEERAPAT Pruetong

チャナティップ選手が切り開いた道を、自分も歩みたい



斉藤宏則＝文
text by SAITO Hironori
溝口明日花＝写真
photographs by MIZOGUCHI Asuka

タイ・ウボンラーチャタニー県の小さな町で育ち、祖母の言葉をきっかけにサッカー選手への道を歩み始めたティラパット プルートン。憧れのチャナティップが切り開いたJリーグの舞台に立ち、札幌の一員となったことに大きな誇りを感じている。19歳でタイA代表にも選出された若きストライカーが、これまでの歩みとコンサドーレで描く未来を語った。

乗り越えた壁の先に、また新たな壁がある

――この2026年はティラパット選手にとって特別な年になっているのではないでしょうか。

そうですね。1月下旬に期限付き移籍でコンサドーレに加入し、キャンプの途中で参加したので、1日でも早くチームになじむべく努力しました。そうした中、百年構想リーグで憧れだったJリーグの舞台に立ち、そこで得点を記録できた時の喜びは本当に大きかったです。5月に期限付き移籍の延長が決まった時も、すごくうれしかった。いくつもの大きな経験ができたという意味で、非常に特別な1年になっていると強く感じています。ですが、本番の戦いともいえる26―27シーズンでは試合に絡む機会が少なくなっており、それは自分の力が足りないことが理由なので、さらなる努力をしていかなければなりません。こうした状況もまた、後に「いい経験だった」と振り返られるように、必ず結果につなげてきたい。そのように考えています。

――Jリーグへの移籍、出場に加え、6月にはタイのA代表にも19歳ながら選出。そして出場を果たしました。

A代表選出もまた、本当に特別な出来事でした。A代表というのはその国にとって重要なチームであり、それに選出されたのはとても栄誉のあることですから。そして、A代表に選ばれたのもコンサドーレに移籍し、このチームが私の見せ場を作ってくれたからこそだと思っていますので、本当に感謝しています。

――そうしてさまざまな経験をしている中で、成長を感じているのは具体的にどんな部分ですか。

まだまだ足りない部分が多いとは思いますが、守備の部分です。以前よりは着実に成長していると感じています。ポジションが攻撃の選手だとしても、守備がしっかりできなければ試合に出られません。ここについてはより一層、努力していきます。

――課題はありながらも、いろいろな目標を達成した26年と評せるのではないでしょうか。

憧れであるJリーグへの移籍がかない、試合出場を果たし得点もすることができ



熱いプレーが見たい!!
がんばれ北海道コンサドーレ札幌
株式会社 道新アクセス　本社　〒060-8711 札幌市中央区大通東4丁目1番地　TEL.011-210-5775(代)